



平成28年

発行 日吉神社
住所 秋田市新屋 日吉町10-67
電話 018-828-3033
http://hiyoshi-jinja.jp/

平成二十八年

丙

申

ひのろ さる

今年の五月二十六日は旧暦四月中の申(なかのさる)。日吉神社の古来よりのお祭りのご縁日にあたります。

平成二十八年 山王祭

統前町 新屋駅前町

当番組 一組

沖田町 田尻沢町
高美町 南団地町



頭人役
赤坂光一氏



祭典委員長
高橋昭一氏



祭典実行委員長
伊藤昭一氏



奉納演芸

日時/二十五日(水)
十九時~二十一時
二十六日(木)
十三時~十五時
十八時三十分~
二十時三十分

場所/日吉神社 下境内
出演者/二代目浅野梅若社中
秋田ミュージック・ラバーズ
歌謡ショー

五月二十五日 御差鉾ご巡幸順路



【往路・赤線】
18:50 日吉神社出発—森川クリニック—19:20 萬八—19:30 忠専寺
—参画屋—19:50 御神宿到着(駅前町内会館)(休憩50分間)
【復路・緑線】
20:40 御神宿出発—新屋駅—西部市民SC—21:00 神社到着

五月二十六日 例大祭ご巡幸順路



【往路・赤線】
11:00 日吉神社出発—11:30 萬八—11:55 忠専寺出発—天龍寺
—12:20 新屋駅前—12:25 御神宿到着(休憩60分間)
【復路・緑線】
14:13 御神宿出発—新屋駅—13:45 大倉オート—13:50 本木(休憩30分間)
14:25 出発—14:35 豊岩踏切—15:00 神社到着

山王祭に新たに”山車”登場

笹町 佐々木宏治氏作品の絵灯籠を載せて

神社のお祭りは、唱歌にもある様に、一年に一度の大祭に象徴されます。当新屋地区の鎮守である日吉神社のお祭りは五月二十五・二十六日の両日行われております。
現在のお祭りでは、かつてトラックに乗せられておくねりをしていたお神輿が、新興連の若者達の肩に担がれる様になっていきます。
新屋でこの様になってから既に三十年近くの間が経ちましたが、最近では、他の地域のおミコシも肩に担いでご神幸をする所が増えてきました。新屋としては誇りに思うところです。
しかし一方で、新屋の祭りにはニギヤカさが不足しているという意見もよく聞かれます。また、参加できる行事が少ないという事もよく聞かれます。年に一度は必ずやって来るこのお祭りの一回一回が、老若男女、多くの人達の心に残るもの。地域の誇りとなつて、人々のつながりを強めるもの。という役割を推し進めるため、第二次の

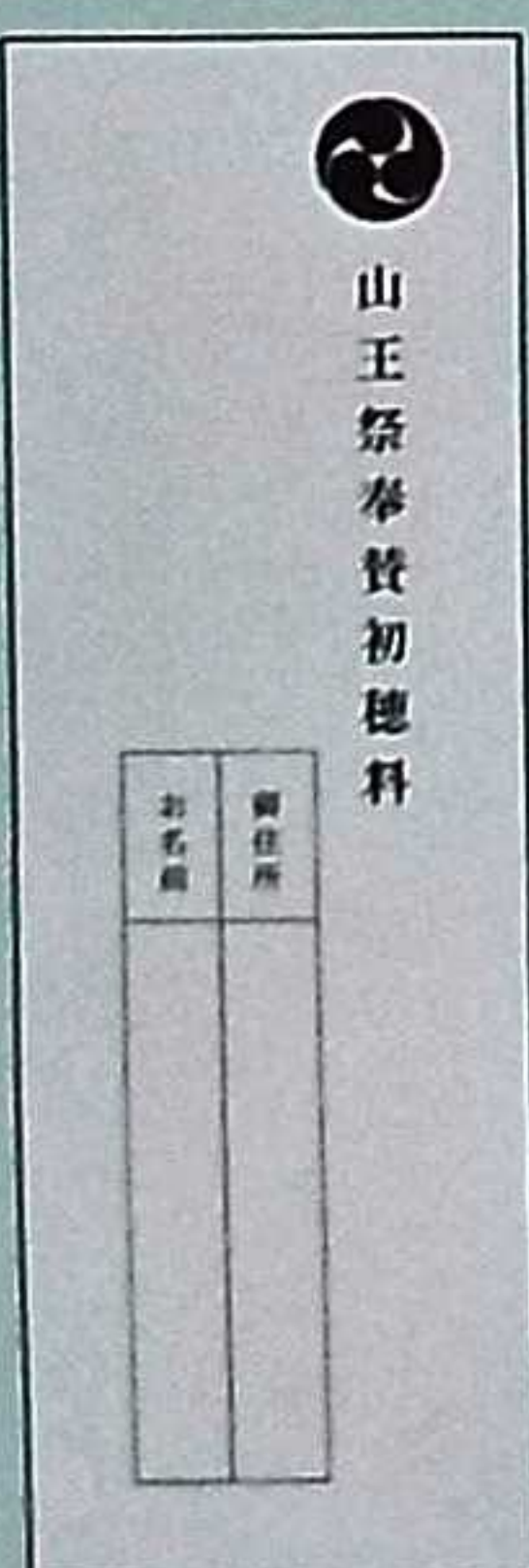
佐々木宏治さんの思い

笹町内の前会長を務められた佐々木宏治さんは、以前より、何か新屋の役に立つ事はできないか常々考えてこれ、お祭りの助灯籠からヒントを得て、湯沢市の絵灯籠を勉強してみようと思立たれました。
絵灯籠を若い人達に伝えようとする教室が開かれる期間には、毎日車で通って、若い人達と共に指導を受けました。

平成二十三年から湯沢の絵灯籠祭りに作品を出品し多くの賞も受けられています。
今年の山王祭では、佐々木さんのこれまでの作品を使わせて載せて山車の四面を飾りますが、佐々木さんの思いは、新屋にいる人の新屋らしい絵を次の世代の人達に作って貰いたいというものです。是非今年の山車を見た若い方々に、来年は自分の絵を！と名乗りを挙げてくださいました。

祭典ご協賛のお願い

山王祭では、日吉神社の神様が、オミコシに担がれて町内を巡ります。皆様からのお祭りへのご協力をお願いいたします。左の様な袋を、町内の氏子総代の方々にお渡ししてあります。神社にも置いてあります。年に一度のお祭りで新しい力の籠もった『祭典霊符』を差し上げます。ミコシのお伴の神主さんからお受け下さい。



栗田定之丞顕彰会

奉納相撲を復活

栗田定之丞大人は、新屋のみならず、秋田県の沿岸一帯を砂嵐から防ぐ為の防砂林を作り、秋田県の住民を救ってくれた偉人です。

我が新屋の先人は、定之丞に対する感謝の気持ちを、「神社」を建てるという形で表現しました。

今、ともすれば忘れがちな、定之丞と、新屋の先人に対する感謝の心を取り戻そうと、昨年、新たに「栗田定之丞顕彰会」を結成しました。その最初の事業として、栗田神社の



祭典が行われてきた、「奉納相撲大会」を復活する事にしました。三捷会の榎宏さんが頑張ってくれて来ましたが御病気に罹り平成十六年から中断しておりました。

此の度、この相撲を復活して、御祭神である「栗田定之丞大人」の事蹟を広め、感謝の心を育てようと、栗田敬神会（小島初男会長）を中心として実行にこぎつけました。本年以降も引き続き実行していく予定です。

NHKスペシャル

去る平成二十八年二月十三日、十四日の両日NHK総合テレビで放送された、「NHKスペシャル・司馬遼太郎没後二十年 この国のかたち」は、土曜・日曜の午後9時からの45分間というゴールデンタイムの番組でした。

番組は作家司馬遼太郎の日本の国に対する思いをまとめたものでしたが、その番組中、江戸後期の理想的な武士の生き方の代表として、我が「栗田定之丞」が高く評価されている事が紹介され、かつ現在の新屋の姿として、NPO法人「あらや松林」と日新小の子供達が映像としてうつつし出されました。我が郷土の誇りとして永く伝えられるべき事と思われれます。

“鹿嶋祭”市指定文化財に!!

長年の念願でありました、“鹿嶋祭”が平成28年3月30日付で秋田市の指定文化財となりました。去る平成17年に指定された“山王祭”に続く認定で、これまた、伝統行事を大切にす「新屋」として、地域に高く認められた事になります。

上北手嶋峨家文書 新屋の鹿嶋祭市文化財追加、計157件に



平成28年3月31日(木)、秋田さきがけ新聞に掲載される。

町内対抗

あらやばやしコンクール

平成18年の日吉神社千二百年祭から、新しい新屋の音として普及に努めてきた「あらやばやし」の町内対抗コンクールも昨年で第十回を迎えました。

新屋のまつりには笛の音が聞こえない。というので作成した「あらやばやし」ですが、小学生だけでなく、中高生、また大人も参加できますので奮ってご参加下さい。

◎平成二十七年の結果

- 優勝 比内町Aチーム
- 2位 沖田町Aチーム
- 3位 日の出町Aチーム

日吉神社の神使い 新たに「吉縁真猿」

稲荷神社のお狐さん、八幡神社の鳩と並んで、日吉神社には「猿」が神様のお使いとされます。

「猿」の字の上に「ま」を付けて、「まさる」と呼び、「魔が去る」「優る」「勝る」の「ご利益」が伝えられます。

当神社の真猿石は、平成元年に造られました。昨平成二十七年新たに「吉縁真猿」というお猿さんを得て、長年の独身生活にピリオドを打ちました。

これを機縁に、多くの方々に、縁結び・良縁のご利益を授けてくれる事と思われれます。どうぞ一層お参り下さい。



平成二十七年年度

地元自慢標語コンクール

平成十五年、当時の日新小学校校長の芳賀龍平先生（後に秋田市教育長）のご指導を受けながら始めたこの地元自慢標語コンクールも今年で第十三回目となります。

今年は新たに勝平中学校の生徒さんにも参加していただき、雄物川を挟んだ新屋と、秋田市西部という視点で頭をヒネって貰います。本年度平成二十八年年度のテーマは「光」です。

金賞・銀賞を、山王祭の前後に神社の前に掲示しますので、是非お参りがてら作品をお楽しみ下さい。

平成二十六年年度金賞受賞作品

(学年・組は昨年度のもので)

- 日新小学校
 - 四年三組 相原 彩希さん
 - 五年一組 佐藤 康介さん
 - 六年二組 中村 蓮さん
- 西中学校
 - 一年一組 柴田 寧々さん
 - 二年六組 太田 快さん
 - 西中の 礼儀 礼節 輝いて 笑顔あふれる 自慢の新屋 倉田 響馬さん
 - 三年三組 威勢よく 明るい笑顔 あふれる ワイワイ楽しい 日吉の祭り

敬神旅行 八戸三社祭

本年の敬神旅行は、これまでの神社参拝と少し趣を変えて、お祭りを見学する旅行を企画しました。



昨年新潟県弥彦神社前にての集合写真

青森県八戸市は漁港として有名です。八戸三社祭は、八月初旬の東北の夏のお祭りとして、ネプタほど有名ではありませんが、漁港らしい、金糸目をつけられないような山車が繰り出すと聞いています。ご参加お待ちしております。

日時 平成28年8月3・4日
費用 4万円

平成28年

年祝祭

本年の年祝会は、去る4月29日に齋行されました。当日はあいにくの雨天となり、初めの殿内での写真撮影となりましたが、88才1名、77才4名、61才25名、42才44名の計76名の参加者は、珍しい神楽に感動していました。



奉納された9寸の大鈴

大正15年から続く新屋の年祝会は、42才の厄年の方が、61才の還暦と、77才の喜寿、88才の米寿の方をお誘いして、一堂に会して行うという、全国的にもあまり例がない行事といわれています。本年の役員の方々を（敬称略）

- 名誉会長 須藤 智明
- 名誉副会長 大島 昌良
- 会長 石川 尚朋
- 副会長 大嶋 司・遠藤 彰
- 幹事 佐々木 雄将
- 幹事 高貝 栄治
- 幹事 伊藤 好直・赤根谷 雄介